

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 29 年 11 月 24 日 (2017.11.24)

【公表番号】特表 2016-511951 (P2016-511951A)  
 【公表日】平成 28 年 4 月 21 日 (2016.4.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-024  
 【出願番号】特願 2015-550844 (P2015-550844)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 52/02 (2009.01)  
 H 0 4 W 72/04 (2009.01)  
 H 0 4 M 1/73 (2006.01)  
 H 0 4 M 11/00 (2006.01)  
 H 0 4 W 4/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 52/02 1 3 0  
 H 0 4 W 72/04 1 5 0  
 H 0 4 M 1/73  
 H 0 4 M 11/00 3 0 2  
 H 0 4 W 4/12

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 10 月 6 日 (2017.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

方法であって、

コンピューティング装置により、装置の複数の無線の各々のタイプの少なくとも一部分に基づいて前記装置の電力消費プロファイルを判定することであって、前記電力消費プロファイルは、前記装置による典型的な電力消費率に関する情報を含み、各タイプの無線は、特定タイプのネットワークに結合される場合に、特定量の電力消費を有する、前記装置の電力消費プロファイルを判定すること、

前記コンピューティング装置により、電力ステータスおよびネットワーク接続性ステータスを含む前記装置のステータス情報を受信することであって、前記ステータス情報は、利用される複数の無線のうちの特定タイプの無線に関連付けられている、前記装置のステータス情報を受信すること、

前記コンピューティング装置により、リソース制御アルゴリズムを使用して、前記ステータス情報および前記電力消費プロファイルに基づいて、前記装置にプッシュ・イベントを送るスケジュールを決定することであって、前記装置にプッシュ・イベントを送る頻度を調整することを含む前記スケジュールを決定すること、

前記コンピューティング装置により、前記装置に提供すべきコンテンツを特定すること、

前記コンピューティング装置により、前記ステータス情報および前記電力消費プロファイルに基づいて、特定されたコンテンツのダウンスケールされたバージョンを生成すること、

前記コンピューティング装置により、調整された頻度でスケジューリングしたプッシュ

・イベントを前記装置に送ることであって、ダウンスケールされたバージョンのプッシュ・イベントは、特定したコンテンツを前記装置に提供する、前記スケジューリングしたプッシュ・イベントを前記装置に送ること、

前記コンピューティング装置により、前記電力ステータスまたは前記ネットワーク接続性ステータスに対して変更が生じたとの判定に基づいて、特定されたコンテンツのアップスケールされたバージョンを前記装置に送ること、

前記コンピューティング装置により、前記装置に、特定されたコンテンツのダウンスケールされたバージョンを、特定されたコンテンツのアップスケールされたバージョンに更新させ、特定されたコンテンツのアップスケールされたバージョンを表示させる命令を前記装置に送ること、を備える、方法。

【請求項 2】

リソース制御アルゴリズムを使用して前記スケジュールを決定することは、  
1 つまたは複数の装置に基づく消費要素にさらに基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記装置に基づく消費要素は、  
特定タイプのネットワークに関する周期的データ使用量転送限度と、特定タイプのネットワークに関するデータ使用量ステータスとを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記装置の前記データ使用量ステータスが、前記装置が前記周期的データ使用量転送限度にあるか、または前記周期的データ使用量転送限度に近づいていることを示す場合、前記周期的データ使用量転送限度に関連する期間が更新されるまで、プッシュ・イベントが、前記スケジュール内に含まれない、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

リソース制御アルゴリズムを使用して前記スケジュールを決定することは、1 つまたは複数のシステム全体の消費要素にさらに基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記システム全体の消費要素は、すべての装置に適用される電力しきい値を含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記装置の前記電力ステータスが、前記装置が前記電力しきい値にあるか、または前記電力しきい値に近づいていることを示す場合、前記装置が充電されるまで、プッシュ・イベントが前記スケジュール内に含まれない、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記プッシュ・イベントが、前記装置を起動するコマンドを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記スケジューリングしたプッシュ・イベントを前記装置に送ことは、  
前記スケジュールに従って前記プッシュ・イベントを開始することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

1 つまたは複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体であって、  
実行されるときに、

装置の複数の無線の各々のタイプの少なくとも一部分に基づいて前記装置の電力消費プロファイルを判定することであって、前記電力消費プロファイルは、前記装置による典型的な電力消費率に関する情報を含み、各タイプの無線は、特定タイプのネットワークに結合される場合に、特定量の電力消費を有する、前記装置の電力消費プロファイルを判定すること、

電力ステータスおよびネットワーク接続性ステータスを含む前記装置のステータス情報を受信することであって、前記ステータス情報は、利用される複数の無線のうちの特定タイプの無線に関連付けられている、前記装置のステータス情報を受信すること、

リソース制御アルゴリズムを使用して、前記ステータス情報および前記電力消費プロファイルに基づいて、前記装置にプッシュ・イベントを送るスケジュールを決定することであって、前記装置にプッシュ・イベントを送る頻度を調整することを含む前記スケジュールを決定すること、

前記装置に提供すべきコンテンツを特定すること、

前記ステータス情報および前記電力消費プロファイルに基づいて、特定されたコンテンツのダウンスケールされたバージョンを生成すること、

調整された頻度でスケジュールリングしたプッシュ・イベントを前記装置に送ることであって、ダウンスケールされたバージョンのプッシュ・イベントは、特定したコンテンツを前記装置に提供する、前記スケジュールリングしたプッシュ・イベントを前記装置に送ること、

前記電力ステータスまたは前記ネットワーク接続性ステータスに対して変更が生じたとの判定に基づいて、特定されたコンテンツのアップスケールされたバージョンを前記装置に送ること、

前記装置に、特定されたコンテンツのダウンスケールされたバージョンを、特定されたコンテンツのアップスケールされたバージョンに更新させ、特定されたコンテンツのアップスケールされたバージョンを表示させる命令を前記装置に送ること、を行うように動作可能なソフトウェアを実装する、1つまたは複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体。

【請求項 11】

リソース制御アルゴリズムを使用する前記スケジュールの決定は、

1つまたは複数の装置に基づく消費要素にさらに基づく、請求項 10 に記載の 1つまたは複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体。

【請求項 12】

前記装置に基づく消費要素は、

前記特定タイプのネットワークに関する周期的データ使用量転送限度と、前記特定タイプのネットワークに関するデータ使用量ステータスとを含む、請求項 11 に記載の 1つまたは複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体。

【請求項 13】

前記装置の前記データ使用量ステータスが、前記装置が前記周期的データ使用量転送限度にあるか、または前記周期的データ使用量転送限度に近づいていることを示す場合、前記周期的データ使用量転送限度に関連する期間が更新されるまで、プッシュ・イベントが前記スケジュール内に含まれない、請求項 12 に記載の 1つまたは複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体。

【請求項 14】

リソース制御アルゴリズムを使用する前記スケジュールの決定が、1つまたは複数のシステム全体の消費要素にさらに基づく、請求項 10 に記載の 1つまたは複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体。

【請求項 15】

前記システム全体の消費要素が、すべての装置に対して適用される電力しきい値を含む、請求項 14 に記載の 1つまたは複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体。

【請求項 16】

前記装置の前記電力ステータスが、前記装置が前記電力しきい値にあるか、または前記電力しきい値に近づいていることを示す場合、前記装置が充電されるまで、プッシュ・イベントが前記スケジュール内に含まれない、請求項 15 に記載の 1つまたは複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体。

【請求項 17】

システムであって、

1つまたは複数のプロセッサと、

前記プロセッサに結合され、前記プロセッサによって実行可能な命令を含むメモリとを備え、前記プロセッサは、前記命令を実行するときに、

装置の複数の無線の各々のタイプの少なくとも一部分に基づいて前記装置の電力消費プロファイルを判定することであって、前記電力消費プロファイルは、前記装置による典型的な電力消費率に関する情報を含み、各タイプの無線は、特定タイプのネットワークに結合される場合に、特定量の電力消費を有する、前記装置の電力消費プロファイルを判定すること、

電力ステータスおよびネットワーク接続性ステータスを含む前記装置のステータス情報を受信することであって、前記ステータス情報は、利用される複数の無線のうちの特定タイプの無線に関連付けられている、前記装置のステータス情報を受信すること、

リソース制御アルゴリズムを使用して、前記ステータス情報および前記電力消費プロファイルに基づいて、前記装置にプッシュ・イベントを送るスケジュールを決定することであって、前記装置にプッシュ・イベントを送る頻度を調整することを含む前記スケジュールを決定すること、

前記装置に提供すべきコンテンツを特定すること、

前記ステータス情報および前記電力消費プロファイルに基づいて、特定されたコンテンツのダウンスケールされたバージョンを生成すること、

調整された頻度でスケジューリングしたプッシュ・イベントを前記装置に送ることであって、ダウンスケールされたバージョンのプッシュ・イベントは、特定したコンテンツを前記装置に提供する、前記スケジューリングしたプッシュ・イベントを前記装置に送ること、

前記電力ステータスまたは前記ネットワーク接続性ステータスに対して変更が生じたとの判定に基づいて、特定されたコンテンツのアップスケールされたバージョンを前記装置に送ること、

前記装置に、特定されたコンテンツのダウンスケールされたバージョンを、特定されたコンテンツのアップスケールされたバージョンに更新させ、特定されたコンテンツのアップスケールされたバージョンを表示させる命令を前記装置に送ること、を実行するように動作可能である、システム。

【請求項 18】

前記プッシュ・イベントが、前記装置を起動するコマンドを含む、請求項 17 に記載のシステム。

【請求項 19】

前記プロセッサが、前記命令を実行するときに、スケジューリングしたプッシュ・イベントを前記装置に送るように動作可能であることは、

前記プロセッサが、前記命令を実行するときに、前記スケジュールに従って前記プッシュ・イベントを開始するかまたは前記装置に前記スケジュールを送るように動作可能であることを含む、請求項 17 に記載のシステム。

【請求項 20】

前記プッシュ・イベントが、前記装置を起動するコマンドを含む、請求項 10 に記載の 1 つまたは複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体。

【請求項 21】

前記スケジューリングしたプッシュ・イベントを前記装置に送ることは、

前記スケジュールに従って前記プッシュ・イベントを開始することを含む、請求項 10 に記載の 1 つまたは複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体。

【請求項 22】

リソース制御アルゴリズムを使用して前記スケジュールを決定することは、

1 つまたは複数の装置に基づく消費要素にさらに基づく、請求項 17 に記載のシステム

。

【請求項 23】

前記装置に基づく消費要素は、

特定タイプのネットワークに関する周期的データ使用量転送限度と、特定タイプのネットワークに関するデータ使用量ステータスとを含む、請求項 22 に記載のシステム。

**【請求項 2 4】**

前記装置の前記データ使用量ステータスが、前記装置が前記周期的データ使用量転送限度にあるか、または前記周期的データ使用量転送限度に近づいていることを示す場合、前記周期的データ使用量転送限度に関連する期間が更新されるまで、プッシュ・イベントが、前記スケジュール内に含まれない、請求項 2 3 に記載のシステム。

**【請求項 2 5】**

リソース制御アルゴリズムを使用して前記スケジュールを決定することは、1 つまたは複数のシステム全体の消費要素にさらに基づく、請求項 1 7 に記載のシステム。

**【請求項 2 6】**

前記システム全体の消費要素は、すべての装置に適用される電力しきい値を含む、請求項 2 5 に記載のシステム。

**【請求項 2 7】**

前記装置の前記電力ステータスが、前記装置が前記電力しきい値にあるか、または前記電力しきい値に近づいていることを示す場合、前記装置が充電されるまで、プッシュ・イベントが前記スケジュール内に含まれない、請求項 2 6 に記載のシステム。